

平成 25 年 9 月 17 日



# せりがや通信第38号

## せりがや病院 50 周年を迎えて

院長 川副 泰成

みなさん、こんにちは。私がこの前『せりがや通信』に書かせていただいたのは、2010（平成22）年10月に着任した直後の第27号でした。今さらながら、時が過ぎる早さには驚かされます。この3年間に通院あるいは入院をされた皆さんは大勢いらっしゃいましたし、対応する職員にも異動がありました。大きな出来事として翌2011（同23）年3月の東日本大震災を忘れることはできませんし、極最近では2020（同32）年に東京オリンピックが開かれるというニュースが届きました。



さて、東京で前回オリンピックが開かれた年の前年、1963（昭和38）年4月にせりがや病院の前身である神奈川県立せりがや園は開設されました。当時、第二次世界大戦後から覚せい剤、麻薬の乱用、流行が社会問題化していたことが背景にあったとのことです。従って今年で50周年ということになりますが、アルコール、睡眠薬などとともに物質への依存症に対する専門的医療の必要性は、世の中でようやく認識されるようになってきました。

昨年には厚生労働省が「依存症者に対する医療及びその回復支援に関する検討会」を設置し、報告書には「各都道府県に1箇所以上を目途として地域における依存症治療拠点機関を整備し、地域全体の依存症に対する診療機能の向上を目指すことが期待される」と書かれています。依存症の専門病院には、たくさんの診療科の診療所や病院を始め、保健福祉、教育、司法などの関係機関との連携が期待されているのです。もちろん、自助活動の皆さんとの協働作業を欠かすことはできません。これらは長い間せりがや病院が目指し、歩んできた方向と一致していると思います。

さて、院内に目を移しますと、入院患者さんが運動を楽しんでいたグラウンドが盛り土で閉鎖されるなど、ご迷惑をおかけしています。お隣の芹香病院をご覧になるとお分りの通り、精神医療センターの総合整備が進んでいまして、来年後半には新棟が開かれる予定です。せりがや病院の外来も病棟も、新たな精神医療センターの1つの部署として移ることになります。芹香病院のいろいろな専門分野とともに継ぎ目なく精神科医療を提供できるよう、準備を進めているところです。

せりがや病院の50年の間には、先人が試行錯誤を重ね、時には自助活動の皆さんにご心配をおかけした時期がありました。そうした土台に立って、小林桜児先生達が考案したSMARPPは今では全国で知られ、上記の報告書にも引用されるまでになりました。今後ともここ神奈川県で依存症を持つ方々の実情に合った精神科医療を提供できるよう、努力していきたいと思えます。



## せりがや病院看護局長就任に当たって

看護局長 尾花 由美子

平成23年4月、芹香病院の看護局長を拝命して2年が経過しました。その間、精神科医療の現状と課題について考え、転換期にある精神医療センターの未来について看護職員と共に様々な検討をしてきました。平成26年12月の新棟開棟が目前に迫ったこの4月からせりがや病院の看護局長も兼務させていただくこととなりました。精神医療センターという大きな組織の中、2つの病院は、それぞれの専門性を活かして、役割を担ってきましたが、お互いの良い医療や看護をさらに発展できる可能性が広がります。お互いが大切にしてきた文化を守りつつ、新しいチャレンジを求められていると思います。せりがや病院が日本の依存症医療の牽引役となるよう、患者さんにとって、必要な看護は何か？さらに追求していきたいと思います。現在、依存症医療のビジョンを明確にし、提供する医療や看護の見直しを行っています。患者さんの利益を最大限考えた「開かれた病院」を目指します。今後ともご支援お願いいたします。



< アルコール依存症家族教室のご案内 >		< 薬物依存症家族教室のご案内 >	
開催日程と担当		開催日程とテーマ	
10月3日(木)	ソーシャルワーカー/臨床心理士	10月10日(木)	特別講座 ナラノンメンバー
10月17日(木)	看護師	10月24日(木)	テーマ4 家族の回復
11月7日(木)	特別講座 ホープヒル 町田氏	11月7日(木)	特別講座 ホープヒル 町田氏
11月21日(木)	医師	11月14日(木)	テーマ1 薬物依存症とは
12月5日(木)	ソーシャルワーカー/臨床心理士	11月28日(木)	テーマ2 家族ができること
12月19日(木)	看護師	12月12日(木)	特別講座 UNDER THE SAME SKY 石川氏
		12月26日(木)	テーマ3 家族の変化・本人の変化
<p>目的 アルコール依存症の知識や特質について学び合い、適切な関わり方を共に考えていくこと。</p> <p>11月7日の特別講座はアルコールと薬物の合同になります</p> <p>参加対象者 アルコール依存症の患者様のご家族の方 (当院を受診していない患者様のご家族も参加できます)</p> <p>参加方法 予約はご不要です。参加費は無料です。</p> <p>開催日時 第1・3木曜日午後1時30分～3時 (但し、祝日はお休み)</p> <p>場所 せりがや病院 2階ダイケア室</p> <p>備考 テーマについては当日担当からお知らせいたします。</p>		<p>目的 覚せい剤、大麻、脱法ドラッグ、処方薬などの薬物依存(中毒)についての知識や薬物依存症の特質について学び合い、適切な関わり方を共に考えていくこと。</p> <p>参加対象者 薬物依存症の患者様のご家族の方 (当院を受診していない患者様のご家族も参加できます)</p> <p>参加方法 予約はご不要です。参加費は無料です。</p> <p>開催日時 第2・4木曜日午後1時30分～3時 (但し、祝日はお休み)</p> <p>場所 せりがや病院 2階ダイケア室</p> <p>備考 テーマ1～4の4回通しての参加をお勧めしています。</p>	
<p>外 来 診 療 ( 新 患 ・ 再 来 ) は 予 約 制 で す。</p> <p>予約変更は平日の午後2時～午後4時にご連絡ください :045(822)0365</p> <p>電話番号の掛け間違いが大変多くなっています。よくお確かめの上、おかけ下さい。</p>			
<p>〒 233-0006 住所 神奈川県横浜市港南区芹が谷 2-3-1</p> <p><a href="http://seishin.kanagawa-pho.jp/serigaya/index.html">http://seishin.kanagawa-pho.jp/serigaya/index.html</a></p> <p>発行所 地方独立行政法人 神奈川県立病院機構 神奈川県立精神医療センター せりがや病院</p>			